

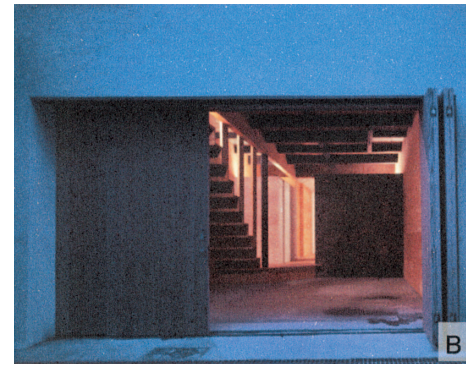
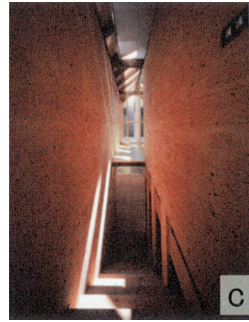
タイトル 長屋の良さを“現代”に甦らす

タイプ 持家連続建

構造 在来木造

講評

上位賞検討作品。屋根を切妻に架け替え、連続する天窓と妻側の開口部の工夫によって長屋に光と風を導入し、奥行きのある豊かな空間を実現している。耐震性能も向上し、長屋の再生としての汎用性が感じられる。



竣工後写真：市川かおり

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

戦前に建てられた五軒長屋のうち、一軒の全面改修。すでに、何度か増築が繰り返され、当時の面影はすっかり失われていた。

かつての記憶だけを手掛りに、改修計画を進めていくのは困難と感じ、若い夫婦の住まいとして相応しく、街並にも新たな風を吹き込むきっかけにしたいと考え、外観を刷新するとともに、土間や庭、また光や風といった要素を生かして、長屋ならではの良さを現代に甦らせることを試みた。

性能向上の特性
耐震性能

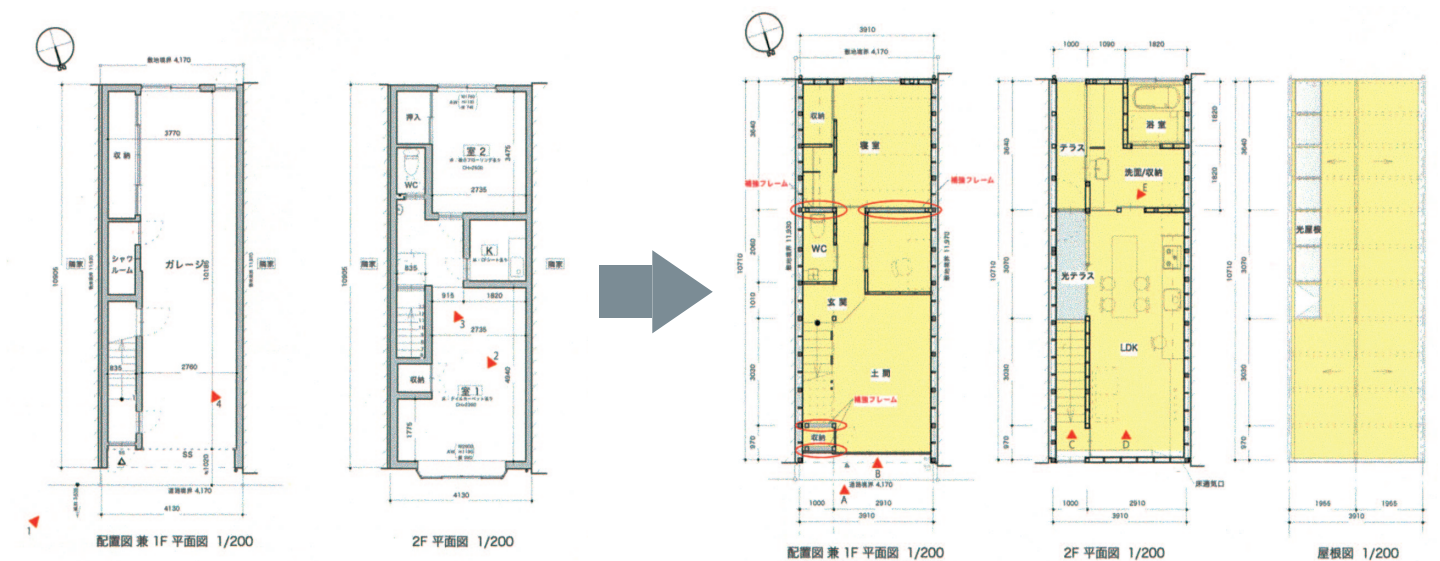
特に配慮した事項
耐震補強フレームを設置

データ

所在地	大阪府大阪市	築後年数	約70年	施工期間	120 日間
該当工事面積	83.74 m ² ／総工事床面積	83.74 m ²	該当部分工事費	1,200 万円／総工事費	1,200 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満： 2 人／65歳以上： 人／15歳未満： 人／ペット：				
設計会社	榊原節子建築研究所	担当者	榊原 節子		
施工会社	(有) 匠工務店	担当者	稲垣 太作		

リフォーム前

リフォーム後



リフォーム部位： 居室 台所 浴室 便所 洗面所 廊下 階段 玄関 エクステリア マンション共有部